

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 31日

事業所名 夢静岡

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			充分広いとは言えませんが、活動内容に合わせて間仕切りを開放して広く使用するなどの工夫をしています。	広いスペースでの支援が可能
	2	職員の配置数は適切である	3	1			コロナなどの理由で猶予されているが、根本的に不足している。 常勤スタッフの補充。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	3		常に職員が見守る中、安全を確保したうえで活動を行っています。	四つん這いや摺り這いで危険な所の補修がされている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3		1	毎日のミーティングの他に、職員会議やケース会議などを行い、療育の質を確保したうえでの業務改善に努めています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			自己評価の結果を全職員で共有し、改善点などを話し合い、安心して過ごせる空間の提供に努めています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1		HPの他にLITALICOでも公表しています。	HP・SNSなど。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	1	連携している機関や有識者からの評価を基に業務改善を行っています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			各種研修会へは積極的な参加を促し、職員全員のスキルアップに努めています。	事業所ミーティングなど。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			最低6ヶ月に一度はモニタリングを行い、目標の達成度や課題を保護者様と共有して作成しています。	保護者からのモニタリング・リクエストなどから、週末イベント・企画など。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3		1	法人内で共有しているアセスメントツールを使用し、個々の児童の特性や状況を判断して作成しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1		おおまかな活動目標を定め、それに沿って職員間で話し合いながら活動プログラムを決めています。	各事業所ミーティングで行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	2		児童の成長や季節、状況などを考慮して活動プログラムを決めています。	様々なスタッフからの意見をきく。 日々の支援目標に合わせて、課題設定をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			毎日のミーティングで、その日の状況に応じた個々の児童への関わり方を職員間で共有し、支援にあたっています。	平日利用・休日利用それぞれの利用に応じて支援している。 個々の目標に合わせて課題設定をしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	2		個々の児童の特性を十分に理解し、個別と集団の必要性を考慮したうえで作成しています。	放デイ・児童クラブ合同での活動あり。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1		非常勤のスタッフも時間を取ってミーティングを行っています。	可能な限り情報共有をして支援につなげている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	3		その日の児童の状況を記録し、支援の振り返りに役立て、気付いた点等を共有しています。	記録用紙を使用して全体共有・振り返りを行っている。 当日でない場合もあるが情報共有・報告はされている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			記録の取り方についての指導も行い、正しい記録を取ることを徹底しています。	支援目標・当日の記録などきちんとつける。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			最低6ヶ月に一度はモニタリングを行っています。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	1		ガイドラインの読み合わせを行い、支援の基本活動を意識して児童と関わっています。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	4			なるべく児童発達支援 管理責任者とサービス 担当者が参画していま す。	多くはできている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	3	1		学校や先生によって差 が大きいのが現実です が、必要な情報の取得 や提供に努め、トラブル が起こらないように事前 の連絡調整に努めてい ます。	帰宅時間・変更など学校との連絡はとれて いる。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	2	1	1		受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	2	2		必要に応じて就学前の 情報を取得し、個別支 援計画の作成に役立て ています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	2	1	1	情報提供を行い、 スムーズに事業所 を移行できるように 配慮しています。	わからない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	2	1	1	専門機関が開催する研 修には積極的に参加 し、職員のスキルアップ に努めています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	4			グループの児童クラブ の児童が遊びに来て一 緒に活動に参加するこ とがあります。	合同事業の際は活動している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	1	2	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	4			送迎時など常に保護 者様との情報共有を 図っています。	送迎のある児は引渡の際1日の連絡や体調 についてなど連絡している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	3		1	職員はペアレント・トレー ニングの研修を受講して おり、それに基づいた 助言等も 行っています。	支援中気づいたアドバイス、保護者からの 質問などにこたえる等 行っている。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	4			契約時に説明し ています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	4			悩みや困りごとが相談 された場合は、寄り添 いながら傾聴や助言 等を行っています。	送迎時・会った時など保護者に1日の様子は 伝えている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	2	1	1		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	4			マニュアルを整備して 対応に備えており、迅 速に事の経緯を説明 し、保護者様の不 満や不安の解消に努 めます。	クレーム等あった時はスタッフ共有のもと施 設長への報告など行っ ている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保 護者に対して発信している	4			毎月のおたよりの他、 必要に応じてお知らせ を発行しています。	SNSの活動報告など。
	35	個人情報に十分注意している	4			書類関係は鍵のかか るキャビネットで厳重 に管理しています。	情報を持ちださないなど。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	4			個々に合わせた伝達 方法で情報提供に努 めています。	コミュニケーションのとれない・とりにくい児 には保護者からアドバイ スを受けるなど。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	1	3			

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			策定したマニュアルは、玄関わきへ吊り下げており、誰でも手に取って確認することが出来ます。	具体的な対応を話し合う必要も有りかと思う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1		毎月の防災啓発活動の他に、自治会との避難訓練(年2回程度)を行います。	具体的な避難ルートなど検討必要。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1		市・県主催の研修や法人主催の研修への参加はもちろん、毎日のミーティング等でも虐待防止の意識の向上に努めています。	多くの目のある場所での支援などにつとめる
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			個別支援改革の中に身体拘束に関する記述があります。また、やむをえず身体拘束を行った場合には、しっかりと記録を取り、保護者様へ説明をいたします。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1		アレルギーや服薬のあるお子様に関しては、医師の指示書を念頭に置き、慎重に対応しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			全職員が積極的に取り組み、事例検討などを行っています。	ファイリングの活用。